

塩崎遊水地整備のこれまでの動き

塩崎遊水地の整備にあたっては、令和3年5月に地権者の皆様方を対象とした説明会を開催、同年11月に地元の皆様方により塩崎遊水地整備対策委員会を組織いただき、関係する皆様との各種調整を行っていただきました。

また、地元の皆様方、地権者の皆様方のご理解とご協力の下、地元長野市と連携しながら遊水地の事業計画の検討や各種調査・設計を行うとともに、令和6年1月より用地買収を進めてまいりました。

- (令和2～3年度)** 遊水地施設設計実施
 令和3年 5月 地元説明会（事業案提示）
 令和3年 11月 地元説明会（施設の配置計画案提示）
 塩崎遊水地整備対策委員会の設立

令和3年11月 地元説明会の状況
 （塩崎小学校にて）



- (令和4年度)** 基準点・地形測量、用地測量、地質調査、
 遊水地施設設計実施
 令和4年 5月 地元説明会
 （用地買収・地役権方式のアンケート結果報告）
 令和5年 2月 地元説明会
 水理模型実験状況視察
 （塩崎遊水地整備対策委員会）

令和5年2月 水理模型実験状況視察
 （茨城県つくば市の実験施設にて）



- (令和5年度)** 幅杭設置測量、用地測量、地質調査、
 遊水地施設設計実施
 令和6年 1月 用地買収着手

令和7年8月 塩崎遊水地整備起工式



- (令和6年度)** 用地測量、遊水地施設設計実施
 令和6年 11月 河川敷関係者説明会

- (令和7年度)** 遊水地施設設計実施
 令和7年 8月 塩崎遊水地整備起工式
 令和7年 10月 塩崎遊水地整備 工事説明会
 排水樋門工事に着手予定

塩崎遊水地周辺の環境調査実施状況

- 塩崎遊水地の工事実施に先立ち、令和3年7月～令和4年6月に塩崎遊水地の計画地及びその周辺で学識者や専門家から助言、指導をいただきながら環境調査を行いました。
- 現地調査の結果、遊水地の計画地及びその周辺で生息、生育、繁殖する重要な動植物種のうち、遊水地の整備に伴い生息、生育、繁殖環境に変化が生じる種は確認されませんでした。
- 現地の工事の実施にあたっては、引き続き学識者や専門家からの助言、指導を踏まえ、現地の自然環境の状況を確認しながら、工事に伴う環境の変化に配慮し、段階的に工事を実施していきます。

- 【環境調査の実施項目（R3～4）】**
- ・ 大気環境（風向・風速、粉じん等）
 - ・ 水環境（水質・水象）
 - ・ 動物（鳥類、哺乳類、両生類、爬虫類、魚類、陸上昆虫類等、底生動物）
 - ・ 植物
 - ・ 景観

お問い合わせ

- 事業全般に関すること 千曲川河川事務所 流域治水課 電話 026-227-9434
- 工事に関すること " 工務課 電話 026-227-7614
- 用地に関すること " 用地第一課 電話 026-227-7613
- 事業用地の管理に関すること " 戸倉出張所 電話 026-275-0133



回 覧

令和7年11月号（No. 1）
 国土交通省北陸地方整備局
 千曲川河川事務所

塩崎遊水地だより発行にあたって

地域の皆様方におかれましては日頃より千曲川河川事務所の治水事業についてご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

現在千曲川河川事務所では、関係自治体等と連携し、令和元年東日本台風により甚大な被害が発生した千曲川沿川において「信濃川水系緊急治水対策プロジェクト」による堤防の整備や河道掘削、塩崎遊水地を含む遊水地の整備を進めております。

この度、塩崎遊水地について、工事の実施状況などのさまざまな情報を地域の皆様方へお届けすることを目的に『塩崎遊水地だより』を発行いたします。

これまで塩崎遊水地の整備にあたり、地域の皆様方、地権者の皆様方のご理解、ご協力に改めて深く感謝申し上げます。1日も早い遊水地の完成を目指して取り組んでまいりますので、引き続き皆様方のご理解、ご協力を賜りますようお願いいたします。

塩崎遊水地の整備内容と今後の工事予定

塩崎遊水地では、地元・地権者の皆様への事業計画のご説明と協議、測量等の現地調査、遊水地施設の設計、用地買収の各段階で、地元の皆様方と調整を行いながら実施してきました。これまでの各段階で要した期間や進捗状況、工事期間について検討の結果、**事業完了時期は当初計画の令和8年度末から令和12年度末に変更する必要**が生じました。

令和7年10月以降より排水樋門の整備、遊水地内の掘削に着手し、遊水地の堤防（**周囲堤、囲繞堤**）の整備を進め、並行して既設の塩崎排水機場にゲートポンプを追加整備する内水対策を行います。さらに、令和11～12年度に**越流堤**の整備を行い、令和12年度末の完成を目指してまいります。



※上記は令和7年10月時点の工程であり、今後現地状況や地元調整状況、その他不測の状況が生じた場合、工程の変更を検討する可能性があります。

